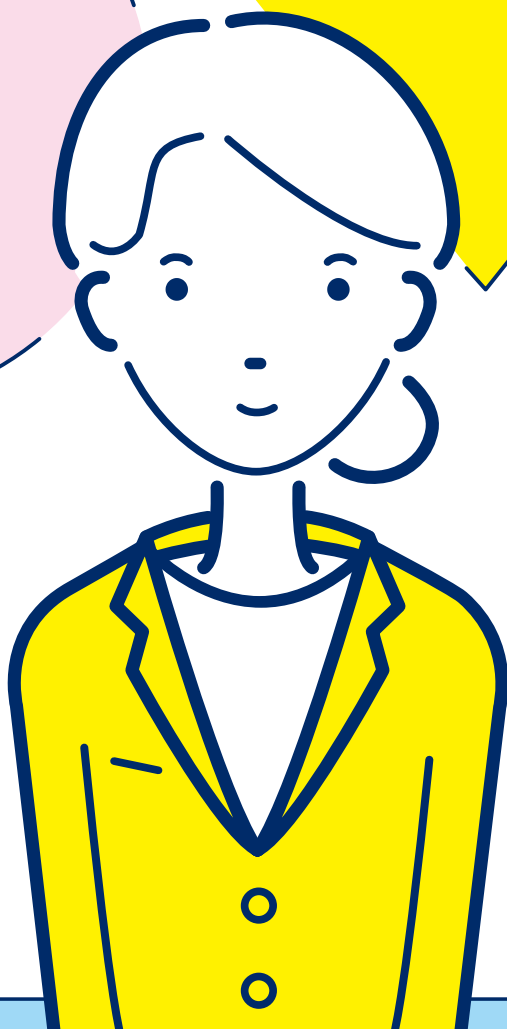


# 劇場を 創る、 と 仕事。

舞台芸術に関わる専門人材を育成するため、東京  
芸術劇場では、アーツカウンシル東京が行う人材  
育成事業「アーツアカデミー」の一環として、将来、  
公立文化施設や芸術団体等の舞台芸術分野で制作  
者として活躍する志を持つ研修生を募集します。



令和4年度  
アーツアカデミー 東京芸術劇場  
プロフェッショナル人材養成研修  
研修生募集

芸劇アーツアカデミー研修は  
10周年を迎えます！

東京芸術劇場

Tokyo  
Metropolitan  
Theatre

# 舞台芸術に関わる 専門人材の育成



## 令和4年度 研修生募集概要

### 01 研修目的

公立文化施設や芸術団体等で活躍することを旨とする若手人材に対し、プロデューサーやコーディネーターとしての資質の向上と舞台芸術分野へのキャリアチェンジに資することを目的としています。レクチャーやゼミ、現場での実務研修を通して、それぞれの業務に必要な知識や技能を付与するとともに、他の劇場関係者とのネットワークをつくる機会も提供するアーツマネジメント研修です。

### 02 研修目標

現場経験 ----- 机上の論で終わることなく、理想を実現するための経験を蓄積する。  
座学 ----- キャリアの基盤となる豊富な知識と、クリエイティブな思考を身につける。  
ネットワーク形成 --- 将来のキャリアにつなげるネットワークを築く。

### 03 募集コース、内容および人員

研修コース	分野	研修の内容（例）		募集人数
		現場実習	座学	
長期コース (10か月程度)	演劇制作 音楽制作	・公演制作 ・ホール運営 ・フェスティバル制作 ・広報業務 等	・レクチャー、ゼミ (アーツマネジメント、文化政策、 作品研究等) ・レポート作成 (月次レポートおよび報告書)	各コース 若干名
短期コース (3か月程度)	教育普及	・ワークショップ制作 ・地域連携企画 ・障害者アーツ運営 ・公演鑑賞のための福祉サービス 等		

(1)実務研修は本人の経験や適性と劇場のプログラム開催時期を考慮しながら、各コース・分野のカリキュラムの詳細を決定します。研修期間を通じて複数の実務研修に従事していただきます。

(2)長期コースは2022年度末に評価を行い、必要と認めた場合は1年を限度に更新することができます(ただし、内容に変更が生じる可能性があります)。

※研修への取り組みに問題が見られる場合は、研修期間中であっても資格を取り消すことがあります。

### 04 研修期間および時間

- ① 研修期間 ----- ■長期コース 2022年4月下旬～2023年3月31日[金] 年間10か月程度  
■短期コース 2022年4月下旬～2023年2月28日[火]のうち、3か月程度
- ・長期・短期コースとも研修内容により、研修日は週4日～週6日程度まで変動します(土日祝を含む)。
  - ・短期コースの研修開始日および終了日は、事業の予定と本人の希望を考慮し、相談の上決定いたします。
  - ・長期・短期コースともフルタイム研修のため、原則として副業・兼業は出来ません。
- ② 研修時間 ----- 原則として、8時45分～22時00分のうちの7時間45分(シフト制)

### 05 研修場所

東京芸術劇場、東京舞台芸術活動支援センター(水天宮ビッド)、その他

## 06

## 参加費

無料（食事代や東京芸術劇場までの交通費等は、自己負担となります）  
 ※当劇場以外の場所で研修する場合、当劇場から研修地までの交通費は、実費を負担します。

## 07

## レポートの作成・提出

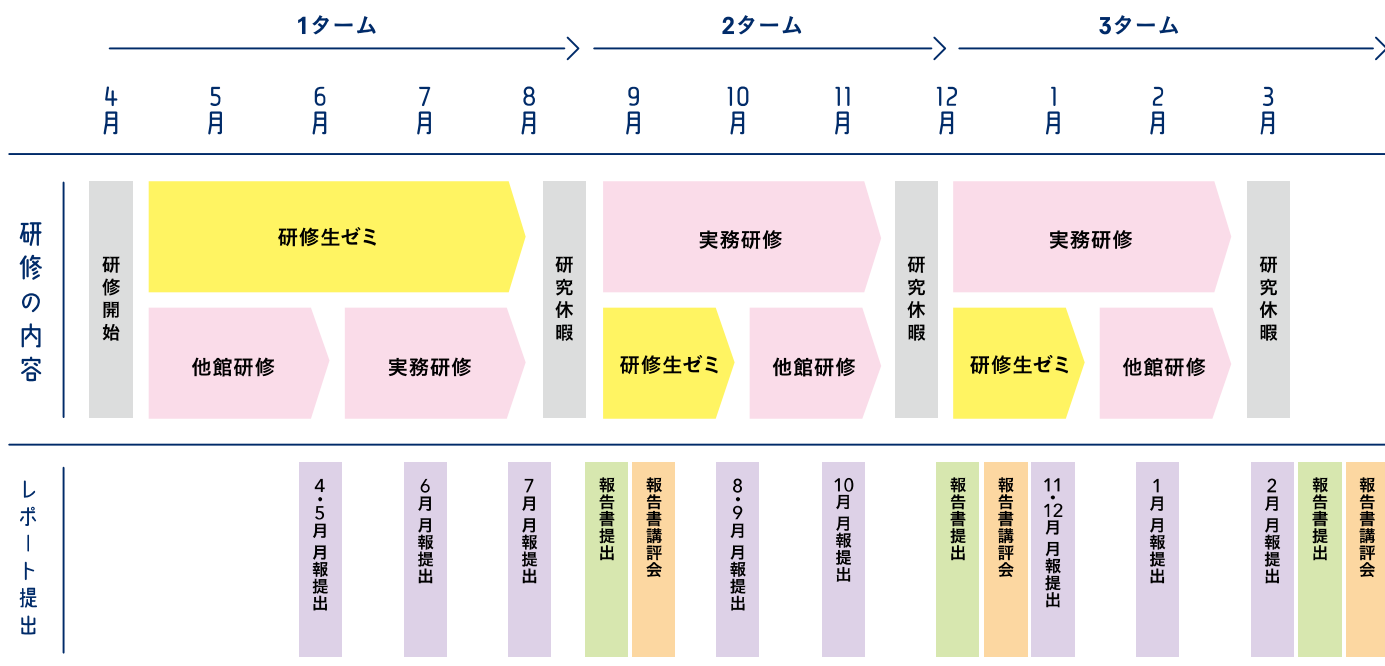
研修期間中に携わった業務について、当劇場が定める具体的な課題を基に所定の期間内に月次レポートおよび報告書を作成し、提出していただきます。一定の水準を満たす内容のレポートを提出し、受講態度に問題がなければ、原則として1レポートごとに18万円(査定有り)をお支払いします。

- 上記金額には、調査研究費、通信費および報告書作成に係る事務経費を含みます。
- 雇用契約ではありませんので、労災保険、雇用保険、社会保険の適用はありません。

※公立文化施設等勤務先から派遣される研修生の場合については、別途当劇場と派遣元の協議の上、条件その他を決定します。

※支払に際しては支払額を所得とみなし、所得税を源泉徴収した差引額を指定の口座に振り込みます。

## 研修の流れ(長期コース例)



## 08

## 応募資格

- ① 職業として劇場や芸術団体等での制作者(プロデューサー、コーディネーター)を目指し、研修期間中、高い意欲を持ち、真摯な態度で研修に取り組むことができる方。
- ② 年齢22歳以上35歳位までで、社会人経験があること。
- ③ 下記①～③のいずれかに該当すること。
  - ① 演劇または音楽の分野で、概ね3年以上の制作経験がある方(劇団、制作会社、フリーランス、大学および大学院等)。
  - ② 文化施設での勤務経験のある方。
  - ③ 企業等において、概ね3年以上の実務経験がある方。
- ④ 基本的なパソコン操作が可能なこと(エクセル・ワード・メールソフトなど)。

## 09

## 選考方法

- ① 第一次選考 --- 書類審査 応募書類および課題論文による書類選考
- ② 第二次選考 --- 面接 面接日:2022年2月13日[日]  
 第一次選考合格者に対して、主として人物および識見についての面接を行います。

## 10

## 募集期間

2022年1月6日[木]～26日[水] 23時59分

## ① 応募方法 ----- メールにて応募書類をお送りください。

(メール送信先) arts-academy@geigeki.jp

件名:「アーツアカデミー研修生申込(氏名)」 添付ファイル形式:PDF推奨

※郵送、FAXおよび持参による受付は行っておりません。

## ② 応募書類 ----- ①所定の「研修生選考申込書」

②所定の「履歴書」

③所定の「志望動機・自己PR書」

④論文1600字以内、指定の様式による。

課題:「劇場法に見る、公共劇場の『世界への窓』としての機能について」

⑤所属長推薦書(該当する方のみ)

公立文化施設等勤務先から本研修に派遣される場合は、所定の推薦書を提出してください。

①～⑤の各様式は、東京芸術劇場ホームページ(<https://www.geigeki.jp/info/artsacademy2022/>)からダウンロードできます。

応募の際にお預かりした個人情報については、本選考に必要な範囲内で利用させていただきます。

## ① 第一次選考結果は、締め切り後2週間以内に本人あてにメールにてご連絡します。

## ② 第二次選考結果は、面接終了後2週間以内に本人あてに郵送します。

※ 選考結果については第一次、第二次とも電話等による問合せには応じられません。

## 修了生の声

研修を修了し、各現場で活躍する元研修生の声をお届けします。



前久保諒

2021年度研修生

&lt;音楽制作分野&gt;短期コース

Ensemble FOVE、ばんだウインド

オーケストラ 所属

音楽制作の実務研修では、実際にさまざまなプロジェクトの一員となって、職員とともに公演をつくっていきます。舞台やロビーでの対応から、書類作成や駐車場予約に至るまで、あらゆる実務が本番の出来につながることに気づくとき、制作とはじつに奥深くおもしろい仕事だと実感します。職員の方々の丁寧な指導がたのしく、ときに思い切った業務範囲を任せくださることもあります。現場では、ふだんから演劇・舞踊や教育普及の方々ともコミュニケーションが活発で、改めて舞台の力ってなんだろう?と考えることが多く、毎日がとても刺激的でした。舞台芸術を信じる方にこそ、ぜひこのアカデミーに飛び込んでほしいと願っています。



結城ゆりえ

2019年度研修生

&lt;演劇制作分野&gt;長期コース

独立行政法人国際交流基金

文化事業部 舞台芸術チーム 所属

元々他業種で仕事をしていたが、演劇制作という仕事や、国際的な事業に関心があり研修に臨みました。研修では座学と現場両面から「芸術と公共性」について常に思考しつつ、芸劇職員・外部講師の方々や同期の研修生と日々対話する機会に恵まれ、文化芸術の世界で仕事をしていく上での土壌となりました。私の場合、現場実習では海外カンパニーによる演劇公演やダンスワークショップ、貸館事業などに携わり、どれもプロフェッショナルの方々働く場を目の当たりにできる貴重な経験でした。“なまもの”である舞台芸術の仕事は一筋縄でいかないことも多くありますが、だからこそこのやり甲斐や可能性も大いに発見できる日々になることと思います!



藤澤祐子

2019年度研修生

&lt;教育普及分野&gt;長期コース

公益財団法人岡山文化芸術創造

岡山芸術創造劇場 総務グループ

総務・経理担当

地方出身の私にとって、東京芸術劇場での経験と多くの劇場関係者・アーティストの方々との出会いは、刺激的で充実したものでした。また座学だけでなく他館研修やOJTによる実践的な現場研修を通して、改めて地方の芸術文化の特性や在り方、劇場の役割などを俯瞰することができました。特に社会共生事業に深く関わったこと、子ども達や参加者の笑顔や成長を間近に感じられたことは、自身の原動力となっています。今念願の地元で、新しく開館する劇場に勤務しています。まだまだ知識も経験も未熟ですが、この研修での学びを糧とし、多様な人々が集い演劇や芸術を愉しめる劇場創りに貢献していきたいと思っています。

## 第1期から第8期 修了生の主な就職先

(公財)岡山文化芸術創造 岡山芸術創造劇場

(一財)北上市文化創造 北上市文化交流センター さくらホール

(公財)京都市音楽芸術文化振興財団 ロームシアター京都

(独)国際交流基金

(公財)新日本フィルハーモニー交響楽団

(公財)東京都歴史文化財団 東京芸術劇場

(公財)東京都歴史文化財団 東京文化会館

(公財)としま未来文化財団

(公財)としま未来文化財団 あうるすぽっと【豊島区立舞台芸術交流センター】

豊岡演劇祭実行委員会事務局

(一財)長野市文化芸術振興財団 長野市芸術館

(公財)新潟市芸術文化振興財団 りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館

(公財)練馬区文化振興協会 練馬文化センター

(公財)兵庫県芸術文化協会 兵庫県立芸術文化センター

(公財)福武財団

(公財)読売日本交響楽団

(令和3(2021)年12月現在)

# 想いをカタチにする思考と経験を、 プロフェッショナルの現場で身につける――

研修プログラムは職員や専門家によるレクチャーやゼミ、  
東京芸術劇場での実務研修のほか、他館の見学や研修、レポート指導、面談など、多角的に展開します。

## 研修の様子



レポート指導



公開ゼミ



研修生企画



報告書講評会



他館見学



出張研修

## 研修プログラム 過去の研修内容をご紹介します。

### ■レクチャー・ゼミ

#### 【公開レクチャー】

- 世界の劇場シリーズ
- これからの劇場運営と社会デザイン
- アーツマーケティング
- 劇場にドラマトルクは必要か
- 文化政策と制作現場のつながりを考える
- P.F.ドラッカーに学ぶ「非営利組織と自己のマネジメント」

#### 【館内ゼミ】

- 劇場法と日本の公共劇場
- 劇場と舞台技術について
- フェスティバルについて
- 演劇プロデュースについて
- 音楽プロデュースについて
- 企画製作・発表 等

### ■面談

日々の業務や研修内容、進路相談など、管理職職員との面談を定期的を実施。

### ■レポート指導

週報・月報・報告書を執筆し、研修での学びを言語化することにより  
客観的な視点と分析力を身に着け、「芸術文化」を伝える言葉の力を培う。

### ■他館見学、出張研修

他の劇場や音楽堂を見学し、スタッフと意見交換することで、  
各地の公立文化施設についての知識を深める。

- 新国立劇場
- 東京文化会館
- 世田谷パブリックシアター
- あうるすぽっと
- 彩の国さいたま芸術劇場
- いわき芸術文化交流館アリオス
- KAAT神奈川芸術劇場
- STスポット
- 城崎国際アートセンター
- 芸術文化観光専門職大学
- SPAC―静岡県舞台芸術センター
- 可児市文化創造センター
- 兵庫県立芸術文化センター 他、多数

⇒ 応募書類送付先・問合せ先

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1

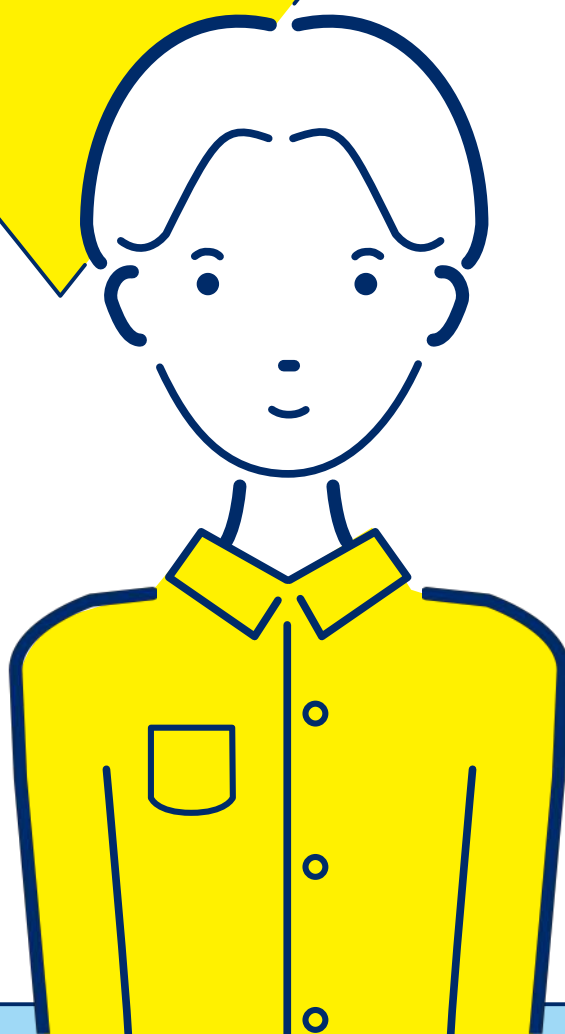
東京芸術劇場 事業企画課 人材育成担当

TEL. 03-5391-2116

E-Mail. arts-academy@geigeki.jp

<https://www.geigeki.jp/>

劇場を  
創る、  
という  
仕事。



主催：

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京・東京芸術劇場

※本プログラムは公益財団法人東京都歴史文化財団の令和4年度予算が財団理事会で可決され、同評議会が承認した上で実施が確定します。

※本プログラムの内容は、予告なく変更になる場合がございます。

東京芸術劇場について

東京芸術劇場は、東京の音楽・舞台芸術を代表する「顔」として、長期的な視点に立った芸術文化の「創造発信」「人材育成・教育普及」「賑わいの創出」「国際文化交流」に取り組んでいます。本格的なクラシック音楽、演劇・舞踊等の専用ホールと専門スタッフを有し、積極的な創造活動を行う東京芸術劇場の特性を活かし、高い専門性を持つ人材を育成していきます。

ARTS COUNCIL TOKYO

東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre